

人にやさしい 科学を探求する

生命環境学部

Faculty of Life and Environmental Sciences



学部が目指すもの!

- 生命科学技術と環境科学技術をもって諸問題の解決にあたり、研究を通して地域に貢献できる人材を育成する!
- 生命科学と環境科学の両分野を密接に関連付けて教育することで、「人にやさしい科学」を志向する人材の育成を目指すとともに、特徴ある研究成果を地域の産業と連携して県民生活に活かす!
- 高度でかつ学際的な科学技術基盤を有する研究者が、地域のシンクタンクとして直接地域の問題にあたる!

学部の特色!

カリキュラムの特色

1. 教育基盤の充実
 - ア. 専門基礎の充実
 - イ. 実験・実習科目の充実
 - ウ. 学科横断的な科目配置による教育
2. 高度な専門科目の配置ときめ細かい指導体制

研究活動の特色

1. 積極的な共同研究の実施
2. 最先端研究への学生の参加

生命科学科

- 生命機能の解析・応用
- 生物資源の活用
- 食品の高機能化

連携領域

- 人間生活の向上
- 持続型社会の構築
- バイオレメディエーション
- 生物動態
- フィールド科学

環境科学科

- 環境計測・分析
- 環境保全技術
- 環境材料開発

バイオテクノロジーの活用

環境の把握と課題提起

フィールド科学 教育分野の特徴



人材育成目標

農学を中心とした専門知識のみならず、生命・環境科学の幅広い専門知識を有する人材、分野間連携、調整能力を発揮し課題解決にあたることができる人材を育成します。たとえば、コミュニケーション力、リーダーシップを持ち、「食」と「農」およびそれを取り巻く「環境」知識についての強みを発揮して6次産業の担い手となりうる人材を育成します。



基幹となる科目

「フィールド科学」1年後期 選択

備北地域の理解と地域貢献についての学問

「フィールド科学実習」2年通年 選択

地域課題に関わる基本技術の修得

「フィールド科学卒論」3-4年 卒論必修

分野横断的な総合的視野を持つ人材育成



特色と位置づけ

連携領域

生命科学科

- 生命機能の解析・応用
- 生物資源の活用
- 食品の高機能化

- 人間生活の向上
- 持続型社会の構築
- バイオレメディエーション
- 生物動態

環境科学科

- 環境計測・分析
- 環境保全技術
- 環境材料開発

フィールド科学

本学部の立地を活かした地域産業と連携した教育

附属フィールド科学教育研究センターとの連携

学外での卒論発表会

両学科の教員による学科枠を超えた教育

フィールドに出かけて課題発見—解決型の教育



生命科学と環境科学の連携で地球に貢献する

生命環境学部

環境科学コース

人と自然の調和へ

自然に学び、自然と向き合い、人との共生を目指して

環境を学ぶ

環境科学と環境技術を学ぶことで、自然環境とその問題解決法を体系的に修得します。



環境に触れる

自然との対話の中で、自然の「しくみ」と「はたらき」に向き合い、持続可能な輝く未来を探求します。



河川・水質保全調査



森林保全活動



廃棄物処理施設見学



環境アセスメント研修



公害防止・管理視察

環境科学コースの取り組み

環境科学コース

サイエンス & テクノロジー で 環境のプロフェッショナルへ

【製造業・食品業】

- ◎ 民間企業 など
- 公害防止管理者
- 環境計量士



【環境技術者・管理者】

- ◎ 公的研究機関 など
- 環境測定分析士(3級)
- 一般計測士

環境科学

- ・ 化学 (物質論)
- ・ 生物学 (生態論)
- ・ 分析学 (大気・水質・廃棄物)
- ・ 機器計測学
- ・ 公衆衛生学
- ・ 環境社会学 など

環境技術

- ・ 環境保全・再生
- ・ リサイクル
- ・ 廃棄物処理
- ・ 環境材料
- ・ 除染処理
- ・ 再生可能エネルギー など

【サービス・流通業】

- ◎ 環境コンサルタント など
- 環境社会検定 (eco検定)
- 環境騒音・振動測定士

【大学院進学】

- ◎ 県立広島大学大学院
- ◎ 国立大学大学院
- 中・高等学校教諭専修免許状

【教員】

- ◎ 理科教員免許状
- 中学校教諭1種免許状
- 高等学校教諭1種免許状

環境科学コースの学びと進路

環境科学コース

1年次
科学を知る

2年次
基礎を習得

3年次
専門を磨く

3・4年次
研究をする

高校理科

物理基礎
物理

化学基礎
化学

生物基礎
生物

導入

数学Ⅰ
数学Ⅱ
統計学
物理学Ⅰ

化学Ⅰ
化学Ⅱ
無機化学
基礎分析化学
環境と科学
化学演習
化学実験
基礎環境科学実験

生物学Ⅰ
生物学Ⅱ
生態学
微生物学
生物学実験
フィールド科学

発展

物理化学
有機化学
環境・無機分析化学
機器分析化学
基礎環境科学実験

環境社会学
環境衛生学
生命環境リスク学
生命環境統計学
生命環境統計学演習

生物化学
生物反応速度論
分子生物学
遺伝子工学
生物学演習

深化

環境無機化学
環境有機化学
高分子化学
機能材料化学

環境管理学
水循環管理学
応用環境科学実験

生物地球化学
生物資源有機化学
衛生微生物学
環境保全生物学
環境応用生物学

卒業論文

集大成

卒業論文

【基礎を固める】 → 【環境を学ぶ】 → 【環境を究める】

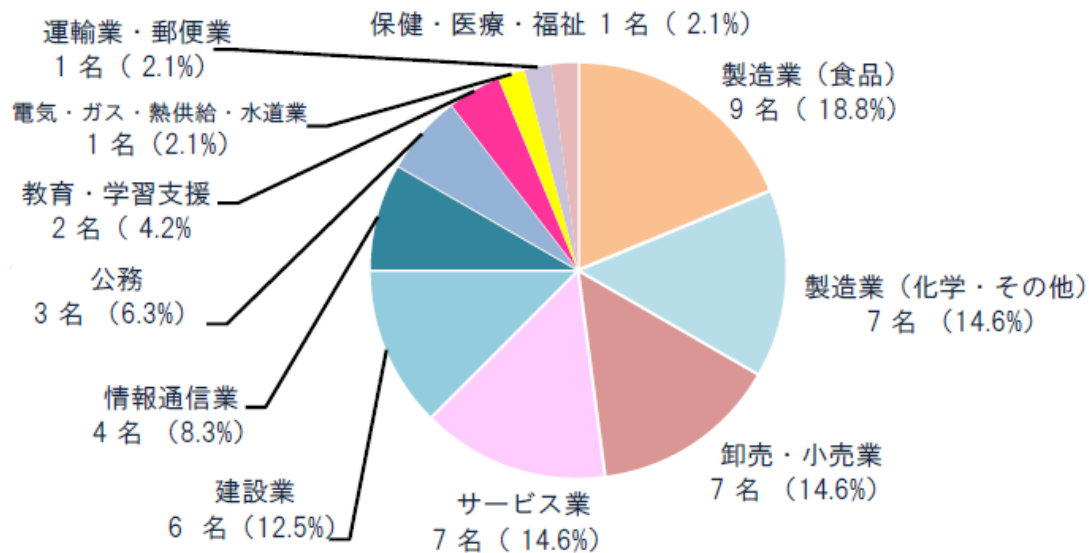
カリキュラムの流れ

【環境のプロフェッショナルへ】

環境科学科の卒業生の進路(業種別)

平成30年度

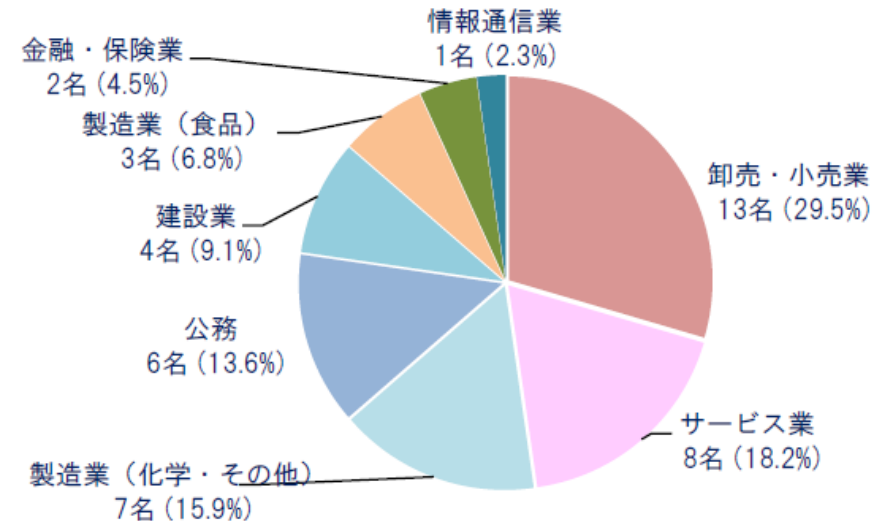
環境科学科



就職希望者 48名・就職者48名 【就職決定率 100%】

平成29年度

環境科学科



就職希望者 44名・就職者 44名 【就職決定率 100%】

業種を問わず幅広い分野で活躍

平成30年度卒業生の就職先

◎製造業

マツダ(株)、旭化成(株)、凸版印刷(株)

◎環境関連

(株)三井開発、(株)Miraie、フジクリーン工業(株)、アイテック(株)

◎社会インフラ

中電プラント(株)、(株)TOKAI、日本IBM共同ソリューションサービス(株)

◎建設業

中国木材(株)、三建設備工業(株)、ダン環境設備(株)

◎医療・健康・食品

高田香料(株)、宮島醤油(株)、富留ハム(株)、勇心酒造(株)、イーピーエス(株)

◎卸小売・サービス業

広島トヨタ自動車、(株)ジャパネットたかた

◎公務員など

広島県、廿日市市、下関市、飛騨農業協同組合、兵庫県教育委員会

◎大学院進学

北海道大学大学院、奈良先端科学技術大学院大学、大阪教育大学大学院